



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：聖路加国際病院 臨床検査科 吉田泰子

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床検査科 吉田泰子

予防医療センターにおいて乳房超音波検査を受けられた方を

対象とした超音波画像に関する研究

1.研究の対象

2023年6月～2023年8月に聖路加国際病院附属クリニック予防医療センターにて、乳房超音波検査を受けられた方のうち5年以上前にも受診歴がある方。

2.研究の目的・方法

乳房画像診断において、乳房構成は非常に重要であり、マンモグラフィにおいては病変を隠してしまうマスキング効果と乳癌の罹患リスクとの関係が知られています。乳房超音波検査による乳房構成分類は確立されていませんが、それについての研究が始まっており、我々は、すでに確立しているマンモグラフィによる分類との関連について報告し、マンモグラフィと超音波検査における乳房構成がかならずしも一対一対応するものではないことが判明しました。マンモグラフィにおいては、加齢における経時的変化や閉経、授乳などのホルモン変化により乳房構成が変化すると考えられていますが、超音波については明確になっていないのが現状です。超音波検査による乳房構成の年齢別の傾向を知り、経年変化および閉経や授乳による影響を検討することを目的としています。なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年9月2日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

年齢、乳房超音波検査の画像、閉経年齢、授乳歴等